

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2023年5月26日



京都光華女子大学

京都光華女子大学短期大学部

人々の“健康”と“未来”を創造する京都光華女子大学 - Well-Being を実現する健康・未来創造キャンパスへ -

京都光華女子大学（学長：高見 茂）では、開学以来 80 余年にわたって校訓「真実心」のもと、仏教精神に基づく女子教育に取り組んできました。真実心とは、寄り添う心、他者への配慮、共に支え合う心のことです。これは、「持続可能な社会」SDGs にも通じる重要な考えです。本学は、この理念によって立ち、すべての人が健やかに暮らせる“Well-Being”な未来の実現を目指し、「人々の“健康”と“未来”を創造する女子大学」創りを進めています。

地域に愛される学校に向けての社会実装

思いやりの心を育む「仏教教育」と女性の可能性を最大限に引き出す「女子教育」を基盤とし、「自分を含めすべての人々が健やかに暮らせる“Well-Being”な未来を創造する人材育成」を実践する大学として京都光華は学生一人ひとりに、そして地域に寄り添い、社会の要請に応えていきます。

2024 年 4 月には学部・学科の拡充を図り、高い教育・研究力を備えた人材育成拠点として地域社会の「健康」と「優しく温かい社会」を支えるスペシャリストを養成します。そして、地域に愛される学校に向けての社会実装として、地域貢献活動にも力を入れています。



※1 2024 年 4 月開設予定（仮称/設置構想中）

※2 2024 年 4 月開設予定（仮称/設置認可申請中）

80 余年の伝統に裏付けられた女子教育ノウハウ

本学は昭和 15 年の高等女学校開設以来 80 余年、一貫して女子教育に取り組んでまいりました。女子教育の目的は時代とともに変化してまいりましたが、本学では「女性の可能性を最大限に引き出す教育」を目的に取り組んでおります。これまでの経験則として、例えば数学の学習においてたくさん問題を解いて、自主的に学習を進めさせるよりも、数種類の解き方を提示し、一つひとつ納得させながら学習を進める方が女子にとっては学習成果が高まること分かっています。こうした本学の女子教育のノウハウを具体化したのが、学びに対する方向性を示す、共感が感じられる寄り添う教育を実践する、安心安全な学習環境を提供するです。これら 3 つのノウハウをもとに、女性の可能性を最大限に引き出す教育に取り組めます。

◇方向性を示す：将来の進路や学習分野、目指す人材像など

◇寄り添う教育：一人ひとりをきめ細かくサポートする体制、QFT（質問づくりの学習方法）などの教育手法の導入

◇安心安全な環境：仏教精神を体現する校風、女性の視点に立つ快適なキャンパス、24 時間警備など

京都・滋賀エリアトップクラスの 12 もの保健・医療・福祉分野の専門職養成

医療ニーズの多様化、医療の高度化に伴い、それぞれの専門職の活躍と医療サービスにおける質の向上が求められています。患者さんに質の高いケアを提供するために、さまざまな分野の専門職者がそれぞれの専門性を生かして、各専門職の視点で問題提起や解決に向けての解決策を提示する「多職種連携」が今後ますます重要になってきます。

そこで本学では、医療現場で求められている「多職種連携」に対応できる専門職を養成するべく、保健・医療・福祉分野の学びをさらに進化させていきます。京都滋賀地区トップクラスの 12 もの資格取得が可能になり、地域社会に不可欠な「保健・医療・福祉」の多職種連携を深める学びが実現します。



2 学部体制で人々の健康を総合的に創造する人材育成 ～作業療法士養成も開始～

健康障害からの回復を含め、あらゆる健康状態にある人への支援を担う看護師・社会福祉士・言語聴覚士・作業療法士（2024 年度から開始）などの専門職の養成を行う看護福祉リハビリテーション学部（看護学科、福祉リハビリテーション学科）を新たに設置し、疾病の予防と健康づくりを担う管理栄養士・公認心理師などの専門職を養成する既存の健康科学部（健康栄養学科、心理学科）との 2 学部構成で専門性を深め、健康を多角的に捉えられる教育研究体制を構築します。

現状									
学部	健康科学部								
学科専攻	<table border="1"> <tr> <td>健康栄養学科</td> <td>心理学科</td> <td>医療福祉学科</td> <td>看護学科</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士専攻</td> <td>健康スポーツ栄養専攻</td> <td>社会福祉専攻</td> <td>言語聴覚専攻</td> </tr> </table>	健康栄養学科	心理学科	医療福祉学科	看護学科	管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻	社会福祉専攻	言語聴覚専攻
健康栄養学科	心理学科	医療福祉学科	看護学科						
管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻	社会福祉専攻	言語聴覚専攻						

2024 年 4 月からの新体制

心と食・栄養、運動を通し、人々の健康を創造

※1 仮称・設置構想中 ※2 国家試験受験資格

治療や予防を担う専門職養成

学部	健康科学部	看護福祉リハビリテーション学部 ^{※1}										
学科専攻	<table border="1"> <tr> <td>健康栄養学科</td> <td>心理学科</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士専攻</td> <td>健康スポーツ栄養専攻</td> </tr> </table>	健康栄養学科	心理学科	管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻	<table border="1"> <tr> <td>福祉リハビリテーション学科^{※1}</td> <td>看護学科</td> </tr> <tr> <td>作業療法専攻^{※1}</td> <td>社会福祉専攻</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚専攻</td> <td></td> </tr> </table>	福祉リハビリテーション学科 ^{※1}	看護学科	作業療法専攻 ^{※1}	社会福祉専攻	言語聴覚専攻	
健康栄養学科	心理学科											
管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻											
福祉リハビリテーション学科 ^{※1}	看護学科											
作業療法専攻 ^{※1}	社会福祉専攻											
言語聴覚専攻												
取得できる主な資格免許	管理栄養士 ^{※2} 栄養士 公認心理師 ^{※2} 臨床心理士(院進学)	作業療法士 ^{※2} 社会福祉士 ^{※2} 精神保健福祉士 ^{※2} 言語聴覚士 ^{※2} 看護師 ^{※2} 保健師 ^{※2} 養護教諭一種免許状										

短期大学部に歯科衛生学科（3 年制）を新設

わが国の社会構造および人口構造の変化に伴い、歯科衛生士業務は従来の歯科医院における予防処置や診療補助などに加え、在宅での訪問診療や周術期の患者に対する口腔ケアのニーズが高まっています。このような社会のニーズに対応するべく、本学では建学の精神「仏教精神に基づく女子教育」のもと、他者を配慮し思いやる心を持ち、幅広い年代の人々の歯と口の健康と向き合い、医療・保健・福祉等の多職種と連携・協働して地域住民の健康維持・増進を支援できる歯科衛生士の養成を目指し、短期大学部に本学科を設置することとしました。「短期大学部 歯科衛生学科（仮称）」の設置認可は、2023 年 3 月 17 日付で文部科学省に申請し、今後は、文部科学省 大学設置・学校法人審議会での審査を受け、この申請に係る設置認可は 8 月末の見込みです。

地域に寄り添い、社会の要請に応える京都光華の地域連携活動

◆食育イベント「こうか的なワクワク食育」開催

食育を通じた地域貢献・地域交流イベントとして、5月28日(日)にスポーツ活動に取り組んでいる小・中学生を対象に食育イベントを開催します。本学健康栄養学科(管理栄養士、栄養士、健康運動指導士等の養成)の教員が中心となり、“スポーツ×食”をテーマに、講義や調理実習形式を含めた全4回の連続講座を予定しています。スポーツ活動をする上で重要な日々の生活習慣に関することからスポーツが関連する食物アレルギーのこと等、スポーツをする子どもたちを支えるためのポイントについてさまざまな視点で分かりやすく解説します。

【日 程】5月28日(日) 9:30~11:00

【場 所】京都光華女子大学間光館 2階 253教室 (〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38)

【テーマ】①成長期のスポーツコンディショニング 講師:小森 康加(本学健康栄養学科 教授)
②成長期のスポーツ栄養 講師:河嶋 伸久(本学健康栄養学科 准教授)

◆「光華ワクワク×健やかフェス」開催

地域交流の場として本学を開放し、本学が取り組んでいる健康・未来創造に向けた教育研究活動を紹介することを通し、地域にお住まいの方が「来場された時よりも健やかでワクワクした気持ちになれる1日を作る」というコンセプトのもと、6月4日(日)に本学キャンパス内において「光華ワクワク×健やかフェス」開催します。

【日 程】2023年6月4日(日) 11:00~15:00

【場 所】京都光華女子大学キャンパス内(〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38)

【主 催】京都光華女子大学/京都光華女子大学短期大学部

【特別協力】京都ダイハツ販売(株)

【協 力】西院第二自治連合会 体育振興会、JA 京都市、NPO 法人みのりのもり劇場

【後 援】京都市、京都新聞

◆光華こども食堂プロジェクト

新たな地域交流の場、子どもの居場所づくりを目的とした、本学主催の「こども食堂」の開催を有志の学生18名とともに検討しています。第1回目は「ワクワクするこども食堂」をテーマに、孤立感を抱えたり、体重が減ったりする子どもが増える傾向にある夏休み中の8月17日・18日に開催を予定しています。

プロジェクトには健康栄養学科や社会福祉専攻等といった「栄養」や「福祉」「子ども」に携わる学生を中心に本学のさまざまな学科の学生が参加しています。第1回目の開催に向け、プロジェクトメンバーの学生たちは自身が所属する学科の学びを生かして当日の提供メニューや子どもたちが楽しめる企画を検討しています。

◆認知症・フレイル予防のためのクリニック「光華もの忘れ・フレイルクリニック」

超高齢社会や地域医療などの課題に対応すべく、本学の健康に関する教育・研究成果を社会実装するための拠点として、2021年11月に「光華もの忘れ・フレイルクリニック」が誕生しました。もの忘れ(認知症)やフレイルにつながりうる骨粗しょう症・運動機能低下・栄養不足等の予防を図ることで、地域の方の健康・Well-Beingに寄与していきます。ドクターによる診察や言語聴覚士による検査といったリアルな現場を間近で学ぶ機会として、言語聴覚専攻の実習の場としても活用されています。他学科・専攻での実習や、学部・学科の枠を超えた多職種連携教育の拠点としてクリニックのさらなる活用を検討しています。

報道各社におかれましては、ぜひ、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学/短期大学部 入学・広報センター 担当:垣貫

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] https://www.koka.ac.jp/



健やかな明日が華ひらく

Well-Being を実現する健康・未来創造キャンパスへ

京都光華では、これまで80余年にわたって仏教精神に基づく女子教育に取り組んできました。その根幹にあるのは校訓「真実心」。世界が目指す「持続可能な社会」に通じる重要な考え方です。私たちは、この理念によって立ち、すべての人が健やかに暮らせる“Well-Being”な未来の実現を目指し、学生一人ひとりに、そして地域に寄り添い、社会の要請に応えてまいります。